

屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験に係る技術援助実施要領

平成9年7月1日危保細則第14号

最終改正 令和3年10月20日危保細則第4号

第1 目的

この実施要領は、危険物保安技術協会（以下「協会」という。）がタンク溶接工事業者等（以下「委託者」という。）の委託に基づき、屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験（以下「確認試験」という。）に係る技術援助を行う場合に必要な手続きを定め、業務の適性で統一的な運営に資することを目的とする。

第2 確認試験の対象

- 1) 確認試験は、屋外貯蔵タンクの次に示す溶接継手を対象とする。
 - ・側板の縦継手及び水平継手
 - ・側板とアニュラ板又は底板との継手
 - ・アニュラ板相互の継手
 - ・底板相互の継手
 - ・アニュラ板と底板との継手
 - ・屋根板相互の継手
- 2) 確認試験は、溶接工事及び溶接条件等の管理を一体的に行う委託者ごとに実施する。

第3 確認試験の方法

- 1) 確認試験は、附属書「屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験に関する細目基準に基づいて行う。
- 2) 協会は、委託者が作成する別表1に定める事項を記載した溶接施工方法確認試験要領書（以下「要領書」という。）の内容を確認後、鋼板、溶接材料、溶接方法等の溶接条件の組合せごとに、委託者が行う溶接試験及び機械試験に立会ってその内容を確認する。

第4 手続き等

- 1) 委託者は確認試験に係る技術援助を協会に委託するに当たっては、別記様式第1の「屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験に係る技術援助委託書」（以下「委託書」という。）に必要事項を記入し、要領書を添付のうえ、協会に提出する。
- 2) 協会は、委託書を受理した後、危険物保安技術協会技術援助等実施規程第4条の受託料の額を算出し、その結果を別紙様式第4により委託者にすみやかに、通知する。
- 3) 協会は、委託者と協議のうえ、別記様式第2により契約書を2通作成し、捺印のうえ、委託者に送付する。委託者は、代表者の印を捺印し、2通のうちの1通を協会にすみやかに返送するとともに、手数料等を協会の指定する口座に振込むこと。
- 4) 確認試験は、前第3のほか、次の手順により行う。
 - ア 協会は、委託者と試験実施日時について協議のうえ、検査員を派遣する。
 - イ 委託者は、溶接終了後、協会検査員立会いのもとに、各試験片に協会指定の刻印を打刻する。
 - ウ 委託者は、機械試験終了後、機械試験結果に加えて、マクロ試験結果、試

験片の見るシート等を含む報告書1部をすみやかに協会に提出する。

第5 結果の通知等

協会は、前第4. 4. ウの報告書を受理した後、別記様式第3の「屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験に係る技術援助報告書」により確認試験結果を7日以内に通知する。

附 則

この実施要領は、平成9年7月1日から実施する。

附 則（平成11年10月19日危保細則第13号）

この実施要領は、平成11年10月19日から実施する。

附 則（令和3年10月20日危保細則第4号）

この細則は、令和3年12月1日から実施する。

別 表 1

溶接施工方法確認試験要領書記入項目

溶 接 施 工 方 法 確 認 試 験 条 件 等	1 溶接継手の種類
	2 試験板の厚さ、種類
	3 溶接材料 ① 溶接棒の種類 ② フラックス及び溶接用ワイヤの種類、成分
	4 溶接方法 ① 溶接姿勢 ② 溶接方法の種類 ③ 予熱の有無 ④ 溶接後熱処理の有無 ⑤ シールドガスの種類 ⑥ 裏面からのガス保護 ⑦ 電極 ⑧ 層盛（自動溶接のみ）
試験片の図	1 試験板形状図（機械試験に使用する試験片箇所を合わせて記入）
	2 試験片詳細図

別記様式第1

屋外貯蔵タンクの溶接施工方法
確認試験に係る技術援助委託書

*登録番号	
-------	--

危険物保安技術協会	年 月 日
理事長 殿	委託者
	所在地
	(電話)
	代表者名

溶接試験	溶接実施事業所等 及び所在地	
	電話・ファックス番号	
	担当者所属及び氏名	
	検査希望日	
機械試験	試験実施事業所等 及び所在地	
	担当者所属及び氏名	
	電話・ファックス番号	
	検査希望日	
試験の数		

連 絡 先	契約書	担当者名	担当部署名	事業所名	電話番号	ファックス番号
	請求書	担当者名	担当部署名	事業所名	電話番号	ファックス番号

委託料	*手数料	*消費税	*旅費等	* 合計金額	* 受付欄
	円	円	円	円	

- 備考 1 法人にあつては、その名称及び事業所の所在地を記入する。
2 *印の欄は記入しないこと。
3 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験
に係る技術援助契約書

<p>甲と乙とは、屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験に係る技術援助について、 年 月 日付「屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験に係る 技術援助委託書」に基づき、下記のとおり契約を締結する。</p> <p>年 月 日</p> <p>所在地； (甲) 代表者；危険物保安技術協会 理事長 印</p> <p>所在地； (乙) 代表者； 印</p>				
技術援助項目	屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験立会及び報告書作成			
試験の種類				
契約番号		契約期間	年 月 日～	年 月 日
手 数 料 等	手 数 料	円		
	消 費 税	円	合 計	円
	旅 費 等	円		(請求金額)

- 備考 1 甲は2通作成し、捺印のうえ乙に送付し、乙は捺印後すみやかにうち1通を甲に返送するものとする。
- 2 契約内容は、技術援助等の変更により、途中で改定されることがある。
- 3 手数料等は、一括前金払いとする。
- 4 契約締結後甲は直ちに委託内容に係る審査に着手し、審査を着手したときは、すみやかに審査報告書を乙に提出するものとする。
- 5 この契約に定めのない事項及び疑義のある事項については、別途甲乙協議して定めるものとする。

屋外貯蔵タンク溶接施工方法確認試験に係る技術援助報告書

年 月 日		
殿 危険物保安技術協会 理事長		
年 月 日（契約番号第 号）付けで受託した屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験に係る技術援助の結果は、下記のとおり屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験として適正であると認められる。（認められない。）		
記		
溶接継手の種類		
鋼材	板厚	
	種類	
溶接材料	溶接棒	
	フラックス	
	ワイヤ	
予熱	有 無	℃
溶接方法		
溶接姿勢		
溶接後熱処理		℃ 保持時間 HR
シールドガス		
裏面からのガス保護		有 無
電極		単極 多極
層 盛		1層 多層
備 考		

屋外貯蔵タンク溶接施工方法確認試験見積内訳書

委託者名				
試験場所	溶接試験 ; 機械試験 ;			
試験数量	種類			
基本料金	①			円
追加料金	②			円
検査料金	③=①+②			円
消費税	④=③×0.10			円
計	⑤=③+④			円
交通費	⑥	※		円
		日数 ⑦	単価 ⑧	⑦×⑧ = ⑨
宿泊費			— 円	円
日当	⑨		円	円
合計金額	⑤+⑥+⑨	円 (請求金額)		
備考	※			

年 月 日
危険物保安技術協会